

放っておくと危ない! 気になる症状

目の前に蚊が…

突然目の前に蚊が飛んで来てパチンとやってもいなくならない。あれ?もしかして自分の目の中に何かがあるのかな?このような症状を蚊が飛ぶ症状と書いて飛蚊症(ひぶんしょう)といいます。目の前を飛ぶのは蚊だけでなくハエやなかにはゴキブリ!?、小さい点、ドーナツ、糸くず…いろいろあります。片目の事が多いですが両眼の事もありますが。これは気のせいではなくて実際に眼球の中に濁りがあつてその影が見えているのです。

飛蚊症の原因はいろいろあります。一番多いのは病気ではない飛蚊症、生理的飛蚊症と言われ

ているものです。眼球の中には硝子体という透明なゼリーのようなものが入っています。そしてこれは誰でも起こる変化なのですが、硝子体は少しずつ水分に変わっていつて目の中のゼリーはかさが減ってきます。かさが減ってくると硝子体の中に繊維状の濁りが自然に出てきてその影が見えるようになるのです。これは点眼をしてもレーザーをしても治りません。ちょっとうつつとうしいですが病気ではないので様子を見て大丈夫です。

しかし飛蚊症の中には怖い病気が隠れているものもあります。網膜剥離という放置して

おくと失明につながる病気も飛蚊症で気がつく事があります。糖尿病や動脈硬化が関係する出血やぶどう膜炎などの眼の中の炎症も飛蚊症の原因になります。このような病気が見つかった場合は適切な治療が必要です。

急に蚊の飛ぶような症状が出た時はとりえず怖い病気が隠れていないか眼科で診察を受けられた方が安心です。生理的飛蚊症であれば心配はない代わりに残念ながら治すことはできません。うつつとうしいものですが目の中の小さな濁りたちと仲良く付き合ってもらえたらと思います。

佐伯地区医師会

アイビー眼科

中村民江先生